

山江村立万江小学校の実践

万江小学校では、家庭学習と授業との連動として、個人思考の場面を家庭学習で行い、授業では協議の場面を中心に取り組んでいる。児童は家庭学習として、持ち帰ったタブレット端末上に自分の考えを書き込むことで、授業において、より効率的に、主体的に協議の場面に取り組むことができている。写真は家庭学習で取り組んだ課題を全体で協議している様子である。



万江小学校では、学習者主体の授業改善を研究テーマに掲げています。その方策の一つとして、家庭学習と連動した授業の実現について、研究を進めています。中でも複式型授業の「ずらし」の型の一つとして、一方の学年には前時の終末場面で次時の学習課題を提示し、タブレット端末上の共有アプリに、個人の考えを書き込むようにしています。また、タブレット端末を家庭に持ち帰り、さらに個人の考えを確かなものにします。タブレット端末上の共有アプリに書き込むことで、授業では、協議の場面から学習を進めることができるとともに、効率的に各自の考えを共有できるようになりました。